

お客様各位

株式会社日立ソリューションズ  
Palo Alto Networks 製品ユーザーサポート

Windows 10 バージョン 21H2 と Cortex XDR エージェントとの非互換性対策としてのアップグレードの推奨について

平素は Palo Alto Networks 製品ユーザーサポートをご利用くださり誠にありがとうございます。

この度、Palo Alto Networks 社より、Microsoft Windows 10 バージョン 21H2 で導入された新機能には、Cortex XDR エージェントとの互換性が無いため、対策版へのアップグレードを推奨するアナウンスがされましたので、以下の通りご連絡いたします。

1. 概要

特定のハードウェアアーキテクチャで実行されている Microsoft Windows 10 バージョン 21H2 で導入された新機能は、Cortex XDR エージェント 7.0.0～7.4.0 のセキュリティエンジンと互換性がありません。継続的なエンドポイント操作を保証するために、10月13日のコンテンツパックアップデートバージョン 210 で、プロセッサとオペレーティングシステムのバージョンをチェックし、Cortex XDR エージェントの互換性のないセキュリティエンジンを事前に無効にする機能が導入されます。

2. 影響のあるお客様

下記全てに当てはまるお客様が対象となります。

- Cortex XDR エージェントバージョン 7.2.1-7.3.3 および 7.4.0
- Windows10 バージョン 20H2 (ビルド 19042) 以降
- Intel Tiger Lake または AMDZen-3 プロセッサ

3. 対応策

エンドポイントへの攻撃を完全に保護するには、Cortex XDR エージェントのバージョン 7.3.4 以降、7.4.1 以降、または 7.5.0 以降へのアップグレードをご検討下さい。

また、Windows 10 バージョン 21H2 にアップグレードする際には、Cortex XDR エージェントを無効にし、Windows10 バージョン 20H2 の状態で事前に影響を受けるセキュリティエンジンを無効にしてください。

以上